

立教生ボランティア

活動報告会



テーマ

なぜ、ボランティアなのか？

毎年度、学生一人ひとりの想いが種となり、それが芽吹いて新たな活動が生まれます。一方、ボラセン主催の「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト」は、現地ニーズ等をふまえ、今年度で現地での活動を終えることになりました。新たに生まれたもの、区切りをつけたもの、様々な角度から私たちの取り組みの価値や意義を振り返ってみたいと思います。

さらに今年度は、同志社大学との「相互協力・連携協定」に基づき、ボランティア活動に取り組む同志社大生が参加・発表します。今回の報告会では、多様な立場（活動者/受け入れ団体/大学等）から「なぜ、ボランティアなのか」を問い直し、その背景にあるものやそこに込められた思いを紐解いていく予定です。ぜひお越しください！

開催日

2026年 3月9日 月

受付開始

12:40~

開催時間

13:00~16:00

※16:30~交流会(軽食あり)を開催いたします。ぜひご参加ください。



当日のスケジュール

セッションごとに、ボランティア活動に取り組む個人・団体による「活動報告」及び発表者による「トークセッション」を行います。

※時間は目安です。

第1部 13:00~14:40

1st.session 2025年度 ポール・ラッシュ博士記念奨学金 受給者

ポール・ラッシュ博士の精神や生涯にわたる諸活動を記念し、本学学生の奉仕の精神に基づく諸活動を奨励、援助する奨学金です。今年度は2計画が採用されました。

- 計画名：「宿題レスキュー in まんまる」
- 計画名：フィリピン・マニラにおける「循環型教育支援」実践プロジェクト

2nd.session

立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト (令和6年能登半島地震)

石川県七尾市和倉地域において取り組む立教独自の復興支援プロジェクトです。

トークセッションゲスト / 多田 健太郎さん

和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 代表
立教大学 卒業生 (経営学科卒)

- 第4弾 (8/19-22)
- 第5弾 (2/11-15)

3rd.session ボランティアセンター 学生コーディネーター

ボランティアセンターに所属し、学生の立場から立教生と地域をつなぐための活動を行っています。

- ボランティアセンター 学生コーディネーター

Coffee Break&ポスターセッション (美味しいコーヒーと交流を) 14:40~14:55

第2部 14:55~16:00

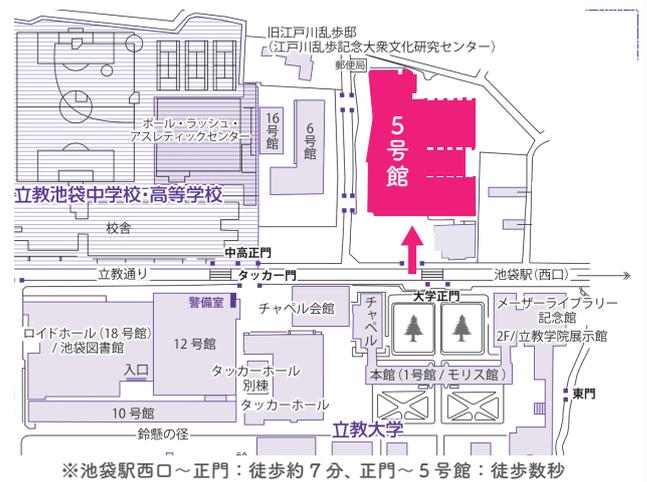
学生ボランティアサークル

日常的にボランティア活動に取り組んでいる学生サークルの発表です。立教大学の4団体に加え、今年度は同志社大学の2団体も登壇します。

- 2025年度新規登録団体 ● Ekshathe
- 継続登録団体 ● 立教大学 地域活性化団体R×L ● 立教大学 BBS会 ● Müll
- 同志社大学 学生サークル ● お客様がいらっしゃいました。 ● G-Link

会場

立教大学 池袋キャンパス 5号館 5122教室



※池袋駅西口~正門：徒歩約7分、正門~5号館：徒歩数秒

対象

立教生、教職員、校友、登録・連携団体の方、一般の方など、どなたでもご参加いただけます！

定員：100名

先着順で受付

参加費無料

参加申込み

右の二次元バーコードを読み取り、Webフォームに必要事項をご入力ください。



主催：立教大学ボランティアセンター

協力：同志社大学 ボランティア支援室

池袋キャンパス 5号館1階 / 新座キャンパス 7号館 2階

E-mail: volunteer@rikkyo.ac.jp (キャンパス共通)

TEL: 03-3985-4651 (池袋) / 048-471-6682 (新座)

note

立教ボラの最新情報を公式noteで発信中！

